



# みなみつ子

28号

学校教育目標

○かしこく

○やさしく

○たくましく

令和7年12月1日(月)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

今日から12月です！あっという間に今年も終わろうとしています。毎日を大切にしましょう！！

## 算数の楽しさについて

2年生がかけ算九九の学習をしています。一生懸命暗唱をして覚えようとしています。九九を覚えることに苦手意識がある子もいると思いますが、これからの算数の学習でかけ算をちゃんと理解しているかは重要なポイントになるのでしっかり仕組みを理解して欲しいです。

高学年の児童に以下の問題を出しどのように答えるかによって、かけ算がただの暗唱で終わっているか、仕組みの理解までできているかわかります。

**99×5**

そろばんを習っていて簡単に暗算ができる子は除いて、多くの子は99×5をそのまま計算しようとすると思います。もちろん間違いではありません。

しかし、 $100 \times 5 - 5$ つまり500から5を引くことができる子はかけ算の仕組みがわかっていると言えます。

## かけ算九九表の不思議

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

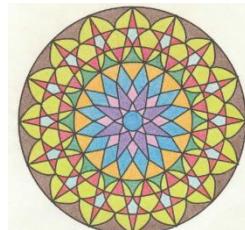
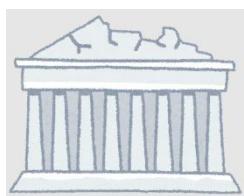
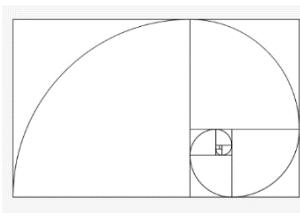
上のかけ算九九表をじっくり見ると面白いことに気がつく子がいます。例えば9の段の答えは一の位と十の位を足すと9になります。また、9の段の答えの一の位は9、8、7、6、5、4、3、2、1となり、十の位は0、1、2、3、4、5、6、7、8、9となっています。

その他にももっと不思議がたくさんあります!!

算数のよさとは？速く計算ができること？正確に計算ができること？子どもたちはどんなイメージをもっているのでしょうか。現行の学習指導要領の算数の解説編には次のような文章があります。「よさについては、これを狭く考えずに数量や図形の知識及び技能に含まれるよさもあるし、数学的な思考、判断、表現等に含まれるよさもあり、有用性、簡潔性、一般性、正確性、能率性、発展性、美しさなどの様々な視点から算数の学習を捉えることが大切である。」と示され、美しさも算数のよさとされています。

美しさが算数？と疑問を持つ方も多いと思います。歴史をさかのぼると算数・数学と建築や美術とのつながりがあったことがわかります。黄金比( $1:1.618\dots$ )や幾何学模様など様々なものが算数・数学と美術や建築などのつながりがあります。

ちなみに、私たちが使っているAサイズの用紙の縦と横は黄金比です。算数は日常と離れていると思っていませんか？算数・数学の知識で支えられていることに気づくと見方が変わってきませんか？



黄金比 ミロのビーナス パルテノン神殿など

円を使っての模様 タイルのモザイク

## 算数の面白い話

0(ゼロ)は深く考えると不思議な数字です。ゼロの考え方には、数学、科学、哲学において極めて重要な役割を果たしてきました。その始まりは昔のインドにさかのぼります。ゼロは、何も無いことの表示、スタートとしての0、位取りの役割、哲学的な意味など、様々な概念を持っています。小学校の低学年でも知っているゼロには長い歴史と、深い意味、役割があります。